

科目名称	基礎看護技術 II (生活を支える看護技術)	学年学期	単位数	時間数
		1 学年 前期	2	45
担当教員	越智 明夏	授業に関わる実務経験	■ 有 (看護師) □ 無	

【1】授業概要

日常生活の援助技術は、対象に直接行う援助であり、安全で安楽な援助技術、対象に配慮した技術を習得する必要がある。様々な対象に応用できる技術の原理原則を学び、演習で看護師役・患者役を体験し、患者の気持ちを理解し、対象に配慮できるようになることをめざす。

【2】学習目標

1. 対象の安全・安楽をふまえた日常生活行動の援助を実施することができる。
2. 患者役を体験することで、患者への具体的な配慮を学ぶ。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主題的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	移動援助とは	講義
2	車椅子・ストレッチャーの移乗と移送	演習
3	睡眠・休息の援助	講義
4	清潔援助とは	講義
5	寝衣交換	演習
6	リネン交換	演習
7	全身清拭	演習
8	シャワー浴①	演習
9	シャワー浴②	演習
10	足浴①	演習
11	足浴②	演習
12	洗髪①	演習
13	洗髪②	演習
14	食事援助とは	講義
15	食事介助と口腔ケア	演習
16	経管栄養法とは	講義
17	経管栄養法	演習
18	排泄援助とは	講義
19	浣腸と摘便	演習
20	陰部洗浄	演習
21	オムツ交換	演習
22	日常生活援助のまとめ	講義
23	試験・まとめ	

【5】評価方法

科目評価は、筆記試験(70点)、演習の取り組み(20点)、提出物(10点)で総合的に評価する

【6】教科書

有田清子:系統看護学講座 専門分野 基礎看護学3 基礎看護技術II(第18版) 医学書院 2022 (電子版)

【7】参考書

薄井担子ほか「ナイチンゲールの『看護覚え書』(改訳第7版)」現代社 ほか・随時紹介

【8】受講生へのメッセージ

学内実習は患者役と看護師役を体験しながら技術を習得します。単なる「真似」にならないように、なぜそうするのかという理由や根拠、行う意図を自分自身で考えましょう。また、学生同士で話し合うことで学びを深めましょう。